

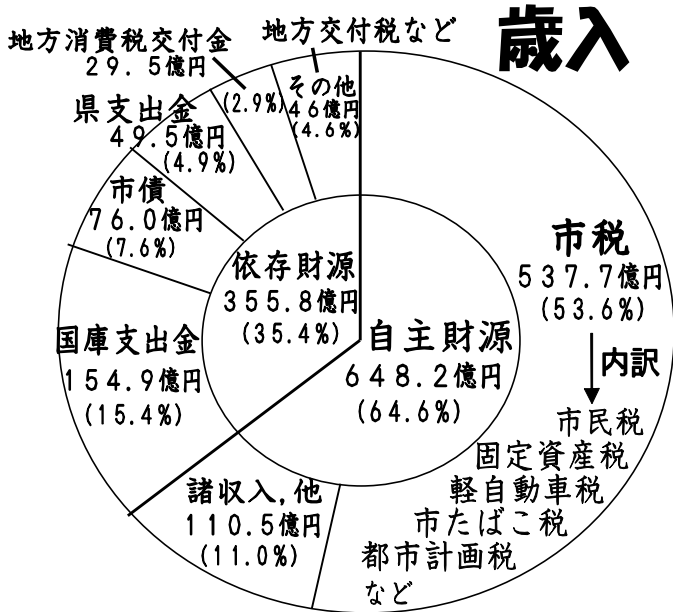


# 川口けいすけの グリーンズ川越

54  
since 2003

編集/発行 川越市議会議員 川口 啓介(無所属)  
〒 350-8601 川越市元町1-3-1 川越市役所6F 無所属議員控え室  
TEL 080-3025-5776 FAX 049-227-3810 E-mail mail@kawaguchi-keisuke.net

## 市債残高1人あたり約26万円 9月議会 23年度決算審査



歳入合計 1,004億円  
(前年対比102.2%)

\*1. 税金滞納分の徴収金が徴収できなくなったとして、自治体はその徴収を諦めた額。

市税は、製造業を中心に景気低迷に持ち直しの傾向が見られ、約10億円の増収となりました。その内、固定資産税・都市計画税は、家屋の新增築分の増加で増収、軽自動車税は、登録台数の増加で増収、市たばこ税は、10月の税率改定により増収となっています。しかし、**自主財源比率は昨年と変わっていません。**

依存財源の内、市債が2.8億円増えています。川越市はこれから公共施設や橋など高度経済成長時代に作った社会資本の改修・建替えが控えています。さらに、各駅の周辺整備などの大規模事業もあり、これらの費用は、一定程度市債で賄うことが予想されます。

**現在の市債残高889.6億円** (市民1人当たり約26万円)の返済を考えると、厳しい財政状況をご理解いただけたと思います。

### 不納欠損処分額\*1の推移

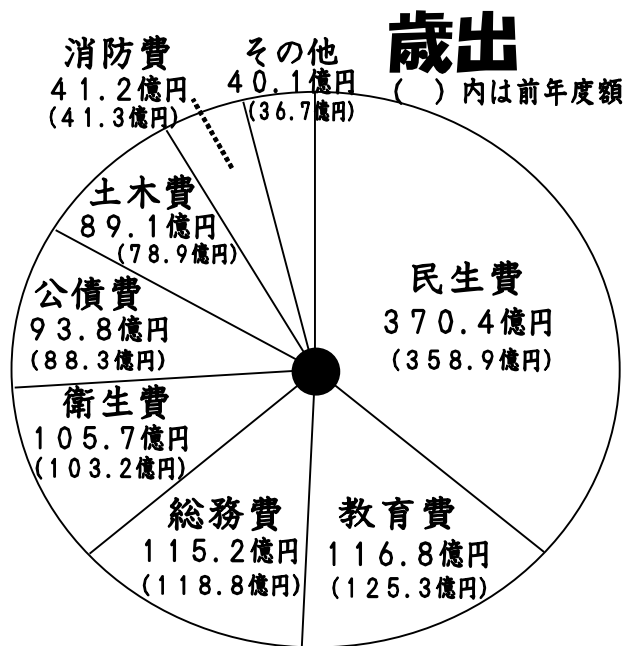
単位は円

17年度	18年度	19年度
約4.5億(3,705人)	約5.3億(3,484人)	約4億(2,627人)
20年度	21年度	22年度
約5.7億(2,481人)	約2.5億(2,776人)	約1.6億(1,407人)

また、不納欠損処分額に目を向けると、一部の企業とは異なる状況が見えます。23年度は、前年比15%増の約1.9億円を処分。人数では2,255人増の3,662人でした。**その内81%は生活保護世帯及びそれに準ずる貧困のため徴収不能**となっています。

歳出では、民生費が子ども手当や生活保護費等により前年比約11.5億円の増となった他、土木費がなぐわし公園整備事業や新河岸駅周辺地区整備事業により前年比約10億円の増、公債費が約5.5億円の増となっています。一方、教育費が小中学校の耐震化がほぼ終了したことで、約8.5億円の減となった他、総務費が約3.6億円、商工費が約1.9億円の減少となりました。

また、川越市には国民健康保険事業特別会計等6つの特別会計があります。本来一般会計と分けられるべきこの特別会計に、**歳入不足を補うために毎年一般会計から多額の繰入金や負担金・補助金が支出**されます(23年度も80億円弱を補填)。こうした一般会計への依存体質を見る限り、抜本的な取組みが必要と考えます。



歳出合計 972.3億円  
(951.4億円)

\* その他の内訳：商工費19億円、議会費7.6億円、諸支出金6.5億円、農林水産業費4.4億円等。